

高校地理プリント（過去問類似）
地理総合（2025年～の共通テスト本試験）
No.1

名前

得点

/11

問1 近代に歩兵第18聯隊が置かれ、軍都として発展したものの、第二次世界大戦後にその広大な跡地が城址を含む公共スペースへと転用され、平和的な都市への脱却が図られた、愛知県東部の中心都市はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 岡崎市 2. 豊橋市 3. 一宮市 4. 瀬戸市

問2 日本の国際協力において、政府機関ではなく民間主導で組織され、アジアやアフリカなどの支援を必要とする途上国において、医療や教育、環境保全などの草の根の支援活動を広く展開している非営利の組織を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 国際赤十字 2. 非営利団体 3. 非政府組織 4. 非営利組織

問3 南アメリカのアンデス高地は、標高が高く低温で降水量が少ない厳しい自然環境にある。この地域において、伝統的に毛の利用や物資の運搬を目的として飼育されてきたラクダ科の家畜は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. リヤマ 2. ビクーニャ 3. グアナコ 4. アルパカ

問4 ヨーロッパの主要国のうち、18世紀以降にアジアから導入された喫茶の習慣が社会的に定着し、現在でも1人1日当たりの茶の消費量がコーヒーの消費量を上回る、かつて世界各地に植民地を展開していた島国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. イタリア 2. スペイン 3. イギリス 4. フランス

問5 ヨーロッパの主要国のうち、高い経済水準や充実した休暇制度を背景に、国民による活発な海外旅行（アウトバウンド）が行われており、国際観光支出が国際観光収入を大きく上回るため、恒常的な観光収支の赤字国となっている国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. フランス 2. ドイツ 3. マルタ 4. チェコ

問6 スカンジナビア半島や北アメリカ大陸北部など、かつて大陸氷床に覆われていた地域において、氷河の浸食作用によって形成された窪地に水が溜まることで成立した湖沼の分類を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. カルデラ湖 2. 断層湖 3. 氷河湖 4. 海跡湖

問7 発展途上国の大都市において、急速な人口流入にインフラ整備が追いつかないことで形成され、衛生的な飲料水の確保や劣悪な居住環境が深刻な課題となっている、都市内の不良住宅地区を何と呼ぶか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ファベラ 2. パリオ 3. ゲッター 4. スラム

問8 18世紀以降、東インド会社を通じたアジアからの輸入や、アフタヌーンティーに代表される生活習慣の定着により、伝統的に茶の消費量が極めて多い一方で、コーヒーの消費量も一定水準存在する、ヨーロッパ西部の島国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. スペイン 2. イタリア 3. フランス 4. イギリス

問9 愛知県東部の河川から取水して渥美半島などの台地へと送水する大規模な用水路で、1960年代に完成し、それまで水不足に悩まされていた地域に畑地灌漑をもたらしてキャベツなどの大産地へと変貌させる契機となった水利施設の名称を答えよ。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 愛知用水 2. 香川用水 3. 那須用水 4. 豊川用水

問10 日本の平野部において、河川の氾濫によって運ばれた土砂が堆積して形成された土壌を何というか。この土壌は水分を保持しやすいため、日本では古くから主に水田として利用されてきた。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 沖積土 2. 洪積土 3. 赤色土 4. 泥炭土

問11 地形図において、等高線が標高の低い方に向かって凸状に湾曲している部分は、周囲よりも高度が高い場所が連続する地形を示している。地形図の読図において、この地形を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 斜面 2. 尾根 3. 山頂 4. 鞍部

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 2 豊橋市	豊橋市では、戦前に歩兵聯隊や練兵場として使用されていた広大な土地が、第二次世界大戦後に豊橋公園などの公共スペースへと転用され、軍事都市から平和的な都市への脱却が図られた。このような軍用地の公園化は、日本の多くの旧軍事都市で見られた戦後復興の特徴である。
問2	答え 3 非政府組織	非政府組織（NGO）は、政府開発援助（ODA）のような政府主導の援助とは異なり、民間主導で草の根の支援活動を行う。日本のNGO団体は、アジアやアフリカなどの支援を必要とする途上国に広く分布して活動しているのが特徴である。
問3	答え 1 リヤマ	アンデス高地は標高が高く、年間を通じて気温が低い。この厳しい環境に適応するため、伝統的に寒さに強いジャガイモの栽培が行われ、毛の利用や荷物の運搬のためにアルパカやリヤマといった家畜が飼育されている。
問4	答え 3 イギリス	17世紀から18世紀にかけて東洋からの茶の輸入が進み、貴族階級から一般市民へと紅茶の飲用習慣が広がりました。この歴史的背景から、現代のヨーロッパ諸国の中でも、コーヒーに比べて茶の消費量が非常に多いという際立った特徴を持っています。
問5	答え 2 ドイツ	高い経済力を背景に国民が長期休暇（バカンス）を利用して周辺の地中海沿岸国などへ海外旅行に出かけることが多いため、観光支出が観光収入を大幅に上回る観光収支の赤字国となっている。一方、スペインなどは観光収入が支出を上回る黒字国である。
問6	答え 3 氷河湖	氷河の浸食作用（氷食）によって削られた窪地や、氷河が運んできた堆積物（モレーン）によって堰き止められた場所に水が溜まることで形成される湖を氷河湖と呼ぶ。北アメリカの五大湖やフィンランドの湖沼群などがその代表例である。
問7	答え 4 スラム	発展途上国の大都市では、地方からの急速な人口流入に対して、行政による住宅や水道などのインフラ整備が追いつかない。その結果、不法占拠地などに簡易的な住居が密集した不良住宅地区（スラム）が形成され、衛生環境の悪化や治安の問題が発生している。
問8	答え 4 イギリス	18世紀以降、東インド会社を通じて中国などから茶（紅茶）が輸入され、貴族階級から庶民へと喫茶の習慣が広がった。アフタヌーンティーなどの独特の生活文化が定着した結果、この国では茶の消費量が世界的に見ても非常に多い。また、近年はコーヒーの消費も拡大している。
問9	答え 4 豊川用水	愛知県東三河地域では、慢性的な水不足を解消するため、豊川から取水して渥美半島へと至る豊川用水が建設された。この用水の開通により、それまで痩せ地でサツマイモなどが栽培されていた台地において畑地灌漑が整備され、キャベツなどの商品作物の栽培が飛躍的に発展した。
問10	答え 1 沖積土	河川の氾濫によって平野部に堆積した土砂を母材とする土壌は沖積土と呼ばれる。水分が得られやすいため、日本では主に水田として利用されてきた。これに対し、火山活動に由来する土壌は水はけが良く畑地として利用されることが多い。
問11	答え 2 尾根	等高線が標高の低い方（ふもと側）に向かって凸状に張り出している部分は、周囲より高くなっている「尾根」を示します。逆に、等高線が標高の高い方（山頂側）に向かって凸状に食い込んでいる部分は、水が流れる「谷」を示します。これらを読み取ることで、土地の傾斜方向や起伏を把握することができます。

高校地理プリント（過去問類似）
地理総合（2025年～の共通テスト本試験）
No.2

名前

得点

/10

問1 トウモロコシや小麦、米などの主要な主食農産物について、国内の総消費量に対する海外からの買入れ量の割合を示す指標を何というか。日本や中東・北アフリカの乾燥地域に位置する国々で高い値を示す特徴がある。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 穀物の国内自給率 2. 食料の輸入依存度 3. 穀物の輸入依存度 4. 食料の総合自給率

問2 日本の地方都市において、1980年代以降、自家用車の普及に伴って郊外への道路網整備が進み、人口集中地区の面積が拡大した一方で、地区内の人口密度が低下する現象が見られた。このような、自動車の普及が都市構造や人々の生活様式に大きな変化をもたらした現象を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ジェントリフィケーション 2. セグリゲーション 3. サバーバニゼーション 4. モータリゼーション

問3 地球温暖化の進行において、高緯度地域では海水の融解により、太陽光を反射しやすい氷の面積が減少し、熱を吸収しやすい海面が広がることで気温上昇がさらに促進される。このように、地表面や雲などが太陽光を反射する割合のことで、この値が低下することが高緯度地域での温暖化を加速させる要因となっている気象学・地理学上の概念を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. スモッグ 2. フェーン 3. アルベド 4. コリオリ

問4 スカンジナビア半島や北アメリカ大陸北部など、かつて大陸氷床に覆われていた地域において、氷河の浸食作用によって形成された窪地に水が溜まることで成立した湖沼の分類を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. カルデラ湖 2. 断層湖 3. 氷河湖 4. 海跡湖

問5 台湾における日本産リンゴの輸入時期は、北半球の収穫期を反映して11月から3月頃の冬期に集中する。これに対し、日本とは季節が逆になる南半球に位置し、5月から8月頃にかけて台湾へのリンゴ輸出のピークを迎える、太平洋に面した南米の国はどこか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ブラジル 2. オーストラリア 3. チリ 4. アルゼンチン

問6 日本の気候区分のうち、冬季にシベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が対馬海流の上空で水蒸気を蓄え、脊梁山脈に衝突することで、雪や雨の日が多くなる特徴を持つ気候区分を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 日本海側の気候 2. 中央高地の気候 3. 南西諸島の気候 4. 太平洋側の気候

問7 黒海北岸からシベリア南部にかけての半乾燥地域に分布する、草類の枯死・分解によって生じた腐植が豊富に堆積した、極めて肥沃な黒色土の名称を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ラトソル 2. ポドソル 3. チェルノーゼム 4. ツンドラ

問8 1970年代以降、日本の工業は内陸部への分散が進んだ。特に、軽量で高付加価値な電子部品やIC（集積回路）を製造する工場が、安価な労働力や用地を求めて、ある高速道路の沿線に多数進出した。この結果、沿線に位置する各県において電気機械工業が出荷額の上位を占めるようになったが、この契機となった、東北地方を縦貫する高速道路の名称は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 東北自動車道 2. 山陽自動車道 3. 常磐自動車道 4. 関越自動車道

問9 コンピュータ上で位置情報を持つ様々なデジタル地図データを統合・分析し、災害対策や都市計画などに活用するシステムを、アルファベット3文字の略称で何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. DEM 2. GIS 3. UAV 4. GPS

問10 2010年代のヨーロッパにおける環境政策に関して、2011年の福島第一原子力発電所の事故を契機に、原子力発電を段階的に廃止する方針を決定し、風力や太陽光などの導入を急速に進めた国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. チェコ 2. ロシア 3. スイス 4. ドイツ

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 3 穀物の輸入依存度	国内の消費量に対する外国からの調達割合を示す指標である。アメリカやカナダ、オーストラリアなどの主要な農業国ではこの値が極めて低くなる一方、日本や中東・北アフリカの国々のように、国内での生産が需要を満たせない国々では高くなる傾向がある。
問2	答え 4 モータリゼーション	地方都市では、自家用車の普及（モータリゼーション）が進んだことで、郊外の主要道路沿いに商業施設や住宅地が拡大した。これにより、人口集中地区（DID）の面積は拡大したものの、人口の伸びが追いつかなかったため、地区内の人口密度は低下し、都市の低密度化が進行した。
問3	答え 3 アルベド	アルベド（反射率）は、地表面や雲が太陽放射を反射する割合を指す。新雪や海氷はアルベドが高く太陽光をよく反射するが、海面や陸地はアルベドが低く熱を吸収しやすい。地球温暖化によって高緯度地域の海氷が融解すると、アルベドの高い氷面からアルベドの低い海面へと変化するため、太陽熱の吸収が増加し、さらなる気温上昇と海氷融解を招く正のフィードバック効果が生じる。
問4	答え 3 氷河湖	氷河の浸食作用（氷食）によって削られた窪地や、氷河が運んできた堆積物（モレーン）によって堰き止められた場所に水が溜まることで形成される湖を氷河湖と呼ぶ。北アメリカの五大湖やフィンランドの湖沼群などがその代表例である。
問5	答え 3 チリ	南半球に位置するチリは、北半球の日本とは季節が逆になります。そのため、チリにおけるリンゴの収穫・輸出時期は5月から8月頃となり、台湾などの北半球の市場において、日本産リンゴの端境期（供給が途切れる時期）を補完する形で輸入されます。
問6	答え 1 日本海側の気候	冬季にユーラシア大陸から吹き出す北西の季節風は、暖流である対馬海流上で水蒸気を補給して湿潤な空気となり、日本の脊梁山脈にぶつかって日本海側に大雪や雨をもたらす。このため、この気候区分に属する地域では、12月や1月といった冬季に降水日数が最多となる特徴が見られる。
問7	答え 3 チェルノーゼム	黒海北岸からシベリア南部にかけてのステップ（半乾燥）気候下では、短い雨季に生育した草類が乾季に枯死し、それが完全に分解されずに腐植として地表に堆積することで、肥沃な黒色土が形成された。この土壌はロシア語で「黒い土」を意味し、世界的な穀物栽培を支えている。
問8	答え 1 東北自動車道	1970年代以降の高速道路網の整備に伴い、輸送費の割合が小さく軽量の電子部品などを扱う電気機械工業が内陸部へ進出した。特に東北地方では、東北自動車道のインターチェンジ周辺などに工場が多数立地し、地域の主要産業となった。
問9	答え 2 GIS	地理情報システム（GIS）は、位置に関する情報（空間データ）をコンピュータ上で管理・加工・分析し、視覚的に表示するシステムである。防災分野では、ハザードマップの作成や避難経路の分析などに広く活用されている。
問10	答え 4 ドイツ	2011年の東日本大震災に伴う福島第一原発の事故を受け、同国では原子力発電所の段階的廃止（脱原発）を決定した。これに伴い、原子力発電量は大幅に減少した。一方で、風力や太陽光をはじめとする再生可能エネルギーの導入を積極的に進め、その発電量は大きく増加している。

高校地理プリント（過去問類似）
地理総合（2025年～の共通テスト本試験）
No.3

名前

得点

/9

問1 地震に伴う津波の襲来が想定される地域において、近くに高台がない平坦な土地や、高台への迅速な移動が困難な高齢者などの人々が一時的に緊急避難できるよう、浸水想定区域内の低地に建設される人工の避難施設を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 津波避難タワー 2. 津波シェルター 3. 津波避難ビル 4. 津波避難マウンド

問2 1960年代半ばから1970年代半ばにかけての高度経済成長期において、日本の三大都市圏の沿岸部を中心に、大規模な用地整備が進められて急速に発達した、鉄鋼業や石油化学工業などに代表される工業部門の分類を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 加工組立型工業 2. 生活関連型工業 3. 基礎素材型工業 4. 知識集約型工業

問3 日本の地方都市において、1980年代以降、自家用車の普及に伴って郊外への道路網整備が進み、人口集中地区の面積が拡大した一方で、地区内の人口密度が低下する現象が見られた。このような、自動車の普及が都市構造や人々の生活様式に大きな変化をもたらした現象を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ジェントリフィケーション 2. セグリゲーション 3. サバーバニゼーション 4. モータリゼーション

問4 近代日本の都市において、歩兵連隊や練兵場などが置かれていた土地は、第二次世界大戦後に公園や学校、公営住宅などへと広く転用された。このような、近代に陸海軍の施設や訓練場として使用されていた土地を総称して何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 軍用地 2. 官有地 3. 民有地 4. 御料地

問5 日本の繊維・衣服産業の流通構造において、製造品出荷額は地方の産地に分散する一方、卸売販売額は特定の巨大都市に極めて高度に集中する特徴がある。この産業において、アパレル問屋や商社が集中し、東京都とともに卸売販売額の大部分を占める、近畿地方の府県はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 京都府 2. 奈良県 3. 大阪府 4. 兵庫県

問6 南アメリカの標高が高い地域では、低温や乾燥に強い作物の栽培が伝統的に行われてきた。この地域が原産地であり、夜間の凍結と日中の乾燥を繰り返して保存食に加工されるなど、高地住民の主食として重要な役割を果たしてきた作物は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. キャッサバ 2. サツマイモ 3. ジャガイモ 4. トウガラシ

問7 地方都市において、自動車の普及に伴う郊外化により人口集中地区の人口密度が低下し、行政コストの増大や中心市街地の衰退が課題となっている。これに対し、都市中心部や公共交通の沿線に商業施設や福祉施設、住宅などを集約させ、持続可能な都市運営を目指す都市政策の構想を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. スマートシティ 2. テクノポリス 3. コンパクトシティ 4. ガーデンシティ

問8 日本付近で火山が噴火した際、放出された火山灰は火口から特定の方向へ広く流され、堆積しやすい傾向がある。これは、日本列島の上空において年間を通じて西から東へと吹いている、地球規模の恒常風の影響によるものである。この風の名称を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 偏西風 2. 極東風 3. 偏東風 4. 貿易風

問9 ユーラシアプレートとインドプレートの衝突によって形成されたヒマラヤ山脈を擁するネパールでは、標高の高い山岳地帯において、山岳氷河による鋭い侵食谷が刻まれた険しい地形が広がっている。このような、中生代以降のプレート運動によって形成され、現在も地殻変動が活発で険しい山脈が連なる地帯を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 大地溝帯 2. 新期造山帯 3. 火山列島 4. 古期造山帯

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 1 津波避難タワー	津波発生時には高台などの安全な場所へ避難することが原則であるが、近くに高台がない平地や、移動に時間を要する避難行動要支援者が多い地域では、迅速な水平避難が困難な場合がある。このような地域において、一時的に垂直避難を行うために、浸水が想定される低地に人工的に建設される施設が津波避難タワーである。
問2	答え 3 基礎素材型工業	1960年代半ばから1970年代半ばにかけての高度経済成長期、日本の三大都市圏の臨海部では、原材料の輸入や製品の輸出に便利な立地条件を活かして、鉄鋼や化学などの基礎素材型工業の基盤整備が集中的に進められた。これにより、臨海部を中心に工業用地の面積が大きく拡大した。1970年代後半以降になると、自動車や電子機器などの加工組立工業が成長し、工場が地方圏へ分散するようになった。
問3	答え 4 モータリゼーション	地方都市では、自家用車の普及（モータリゼーション）が進んだことで、郊外の主要道路沿いに商業施設や住宅地が拡大した。これにより、人口集中地区（DID）の面積は拡大したものの、人口の伸びが追いつかなかったため、地区内の人口密度は低下し、都市の低密度化が進行した。
問4	答え 1 軍用地	近代日本において、陸軍の連隊や練兵場、海軍の施設などが置かれていた土地は軍用地と呼ばれる。戦後、これらの広大な土地は国有地から地方自治体などに払い下げられ、豊橋公園（愛知県豊橋市）のような大規模な公園や、大学のキャンパス、団地などの公営住宅へと転用され、都市の近代化や復興に利用された。
問5	答え 3 大阪府	繊維・衣服産業において、卸売販売額はアパレル商社や問屋が集中する東京都や大阪府に極めて高度に集中する。これに対し、製造品出荷額は地方の産地（北陸、東海、岡山など）に分散し、小売販売額は消費者の購買力や人口規模に応じて全国に広く分布する。
問6	答え 3 ジャガイモ	南アメリカのアンデス高地はジャガイモの原産地であり、冷涼な気候を活かして古くから栽培されてきた。水分を抜いて長期保存を可能にした「チューニョ」と呼ばれる乾燥ジャガイモは、高地における貴重な食料源となっている。
問7	答え 3 コンパクトシティ	モータリゼーションの進展による都市の低密度化（スプロール化）や中心市街地の空洞化に対処するため、公共交通機関の結節点や中心部に都市機能を集中させ、効率的な都市運営を図る「コンパクトシティ」の形成が各地で模索されている。
問8	答え 1 偏西風	日本列島が位置する中緯度帯の上空には、年間を通じて西から東へと吹く強い風が存在する。このため、火山が噴火した際に放出される火山灰やガスは、火口から東側の地域へと運ばれやすく、ハザードマップ等でも東側に広く降下範囲が予測される。
問9	答え 2 新期造山帯	ネパールが位置するヒマラヤ山脈周辺は、プレートの衝突によって形成された地域に属する。この地域では現在も隆起活動が活発であり、標高の高さから山岳氷河が発達し、鋭い侵食地形（U字谷やホルンなど）が形成されている。

高校地理プリント（過去問類似）
地理総合（2025年～の共通テスト本試験）
No.4

名前

得点

/10

問1 日本付近で火山が噴火した際、放出された火山灰は火口から特定の方向へ広く流され、堆積しやすい傾向がある。これは、日本列島の上空において年間を通じて西から東へと吹いている、地球規模の恒常風の影響によるものである。この風の名称を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 偏西風 2. 極東風 3. 偏東風 4. 貿易風

問2 ヨーロッパ東部に位置し、国土の大部分に肥沃な黒色土が分布することから、世界有数の穀倉地帯として知られ、主に冬小麦やヒマワリなどの大規模な栽培が行われている国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ブルガリア 2. ウクライナ 3. ルーマニア 4. クロアチア

問3 地方都市において、自動車の普及に伴う郊外化により人口集中地区の人口密度が低下し、行政コストの増大や中心市街地の衰退が課題となっている。これに対し、都市中心部や公共交通の沿線に商業施設や福祉施設、住宅などを集約させ、持続可能な都市運営を目指す都市政策の構想を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. スマートシティ 2. テクノポリス 3. コンパクトシティ 4. ガーデンシティ

問4 急速な人口流入に伴うインフラ整備の遅れから、スラムにおける衛生的な飲料水の不足や、自家用車の急増による深刻な交通渋滞に直面している。この渋滞対策として、バスの定時性と速達性を確保するためのバス専用レーン（BRT）が導入された、東南アジアにあるインドネシアの首都はどこか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ジャカルタ 2. プノンペン 3. バンコク 4. ビエンチャン

問5 アメリカ合衆国の南部におけるかつてのプランテーションや、中央アジアのアラル海周辺における大規模な灌漑農業によって生産され、世界の衣料品産業を支える代表的な天然繊維原料は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 菜種 2. 綿花 3. 甘蔗 4. 甜菜

問6 大気中の二酸化炭素濃度は、1年を通じて一定ではなく、季節的に増減を繰り返しながら推移している。この季節変動をもたらす最大の要因は陸上植物の活動である。特に、夏季に活発化し、大気中の二酸化炭素を吸収して有機物を合成する植物の生理作用を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 光周性 2. 光呼吸 3. 光屈性 4. 光合成

問7 スマートフォンの生産において、先進国の企業が製品の企画・設計を行い、部品製造や組み立てをアジアなどの労働コストが低い地域や技術集積地に委託し、完成品を世界各地の消費地へ輸送するような、国境を越えた生産体制の仕組みを何と呼ぶか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ナショナル分業 2. ジェンダー分業 3. モジュール分業 4. グローバル分業

問8 地域の伝統的な生産方法や気候・風土などの特性に結びついた農林水産物や食品等の名称を知的財産として国が保護し、他産地との差別化やブランド化による高付加価値化を支援する日本の制度を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 地域団体商標制度 2. 品種登録制度 3. 地理的表示保護制度 4. 伝統的工芸品制度

問9 日本の情報関連産業のうち、大手企業や編集プロダクションが特定の1都に極度に集中しており、全国の従業者数に占めるその都の割合が約7割に達する一方で、近年はインターネットの普及や電子書籍化の進展に伴い、従業者数の減少率が大きくなっていく産業を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 放送業 2. 出版業 3. 新聞業 4. 通信業

問10 トウモロコシや小麦、米などの主要な主食農産物について、国内の総消費量に対する海外からの買入れ量の割合を示す指標を何というか。日本や中東・北アフリカの乾燥地域に位置する国々で高い値を示す特徴がある。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 穀物の国内自給率 2. 食料の輸入依存度 3. 穀物の輸入依存度 4. 食料の総合自給率

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 1 偏西風	日本列島が位置する中緯度帯の上空には、年間を通じて西から東へと吹く強い風が存在する。このため、火山が噴火した際に放出される火山灰やガスは、火口から東側の地域へと運ばれやすく、ハザードマップ等でも東側に広く降下範囲が予測される。
問2	答え 2 ウクライナ	黒海北岸に位置するこの国は、国土の大部分がチェルノーゼムと呼ばれる肥沃な黒色土に覆われている。冷涼で適度な乾燥を伴う気候を活かして、大規模な機械化農業による穀物生産が行われており、歴史的に「ヨーロッパのパン籠」と称されてきた。
問3	答え 3 コンパクトシティ	モータリゼーションの進展による都市の低密度化（スプロール化）や中心市街地の空洞化に対処するため、公共交通機関の結節点や中心部に都市機能を集中させ、効率的な都市運営を図る「コンパクトシティ」の形成が各地で模索されている。
問4	答え 1 ジャカルタ	インドネシアの首都であるジャカルタでは、急速な都市化に対してインフラ整備が追いつかず、スラムにおける衛生的な飲料水の確保が深刻な課題となっている。また、自家用車の増加による激しい交通渋滞への対策として、バスの定時性と速達性を高めるためのバス専用レーン（トランスジャカルタ）が整備されている。
問5	答え 2 綿花	アメリカ合衆国南部（コットベルト）やインドのデカン高原、中国の新疆ウイグル自治区、中央アジアのアムダリア川・シルダリア川流域などは、代表的な栽培地域である。この作物はアオイ科の植物から得られる天然繊維であり、乾燥・半乾燥地域では大規模な灌漑施設を用いて栽培されることが多い。中央アジアでは過度な灌漑によりアラル海の縮小という環境問題も引き起こされた。
問6	答え 4 光合成	大気中の二酸化炭素濃度は、植物が光エネルギーを利用して二酸化炭素を吸収し、有機物を合成する光合成の働きによって季節的に変動する。北半球の夏季にはこの作用が活発に行われるため大気中の二酸化炭素濃度が低下し、冬季にはこの作用が衰えて呼吸や分解が上回るため濃度が上昇する。
問7	答え 4 グローバル分業	製品の企画・開発、部品製造、組み立てなどの各工程を、それぞれのコストや技術水準に応じて世界各地の最適な地域に配置する仕組みをグローバル分業（国際分業）と呼ぶ。これにより、部品製造の工場と最終消費地が地理的に大きく離れたサプライチェーンが形成される。
問8	答え 3 地理的表示保護制度	地域の伝統的な生産方法や気候・風土などの特性に結びついた製品の名称を知的財産として保護する仕組みは、地理的表示保護制度（GI制度）と呼ばれる。この制度は、模倣品の排除や、他産地との差別化・ブランド化による高付加価値化（適正な価格での販売）を目的としている。青森県の十三湖で採れるシジミなどもこの制度に登録され、地域ブランドとしての価値を高めている。
問9	答え 2 出版業	大手出版社や編集プロダクションが東京都に極度に集中しているため、全国の従業者数に占める東京都の割合が約7割と非常に高い特徴を持つ。しかし、デジタル化や電子書籍の普及といったメディア環境の変化により、近年は従業者数が大幅に減少している。
問10	答え 3 穀物の輸入依存度	国内の消費量に対する外国からの調達割合を示す指標である。アメリカやカナダ、オーストラリアなどの主要な農業国ではこの値が極めて低くなる一方、日本や中東・北アフリカの国々のように、国内での生産が需要を満たせない国々では高くなる傾向がある。

高校地理プリント（過去問類似）
地理総合（2025年～の共通テスト本試験）
No.5

名前

得点

/9

問1 南アメリカ大陸の西岸沖に位置し、海洋プレートであるナスカプレートが大陸プレートである南アメリカプレートの下に沈み込むことで形成されている、非常に深く細長い海底の凹地を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. アリュースシャン海溝 2. トンガ海溝 3. マリアナ海溝 4. ペルー・チリ海溝

問2 日本の農産物輸出において、台湾や香港が主要な輸出先であり、近年はタイやベトナムなどの東南アジア諸国への輸出量も増加している果実がある。この果実は、北半球に位置する日本での収穫期（秋）を反映し、輸出先における日本産の輸入時期が11月から3月頃の冬期に集中するという季節的特徴を持つ。この果実の名称を答えよ。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ミカン 2. ブドウ 3. イチゴ 4. リンゴ

問3 日本の地方都市において、1980年代以降、自家用車の普及に伴って郊外への道路網整備が進み、人口集中地区の面積が拡大した一方で、地区内の人口密度が低下する現象が見られた。このような、自動車の普及が都市構造や人々の生活様式に大きな変化をもたらした現象を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ジェントリフィケーション 2. セグリゲーション 3. サバーバニゼーション 4. モータリゼーション

問4 1970年から2020年にかけての人口動態と農業生産の変化について述べた、以下の説明に該当する地域（大州）として最も適当なものを答えよ。「この地域では、同期間において人口密度が1平方キロメートルあたり約11人から約24人へと緩やかに増加した。また、農業技術の向上や耕地の拡大などに伴い、1人当たりの穀物生産量も約0.28トンから約0.58トンへと2倍以上に増加している。」（2026年 全国公立入試 類似）

1. オセアニア 2. 北アメリカ 3. ヨーロッパ 4. 南アメリカ

問5 ペルシャ湾岸の産油国では、豊富なオイルマネーを背景とした建設業やサービス業の急速な発展に伴い、労働力不足を補うために国外から多くの出稼ぎ労働者を受け入れている。特に、自国籍人口の割合が1割程度と極めて低く、人口の大部分を南アジアなどからの外国人労働者が占めることで知られる、ドバイやアブダビなどの首長国から構成される連邦国家はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. クウェート 2. サウジアラビア 3. カタール 4. アラブ首長国連邦

問6 アラビア半島の沿岸諸国では、年間降水量が極めて少なく、恒常的な河川も存在しない。この地域において、豊富な石油や天然ガスなどのエネルギー資源を背景に、大規模なプラントを建設して生活用水や工業用水を確保しているシステムや技術を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 海水淡水化 2. 地下水灌漑 3. 点滴灌漑法 4. 排水再利用

問7 日本の合成繊維産業は、高度経済成長期以降、原料の安定的かつ大量な供給を可能にする大規模な工業施設の整備に伴って大きく発展した。原油の精製からプラスチックや合成繊維の原料生産までを一貫して行う、臨海部などに形成された一連の工場群を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 石油精製コンビナート 2. 化学工業コンビナート 3. 石油化学コンビナート 4. 臨海工業コンビナート

問8 2010年代において、急速な経済成長に伴う電力需要の急増に対応するため、火力、水力、原子力、および再生可能エネルギーのすべての発電方式において、発電量を大幅に増加させた国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 朝鮮 2. 韓国 3. 中国 4. 日本

問9 アメリカ合衆国の主要都市圏における職業構成を比較したとき、世界的な金融・ビジネスの中心地として管理的・専門的職業の割合が極めて高い都市圏と、かつて製造業が盛んで生産・輸送職の割合が比較的高い都市圏がある。後者の特徴を持つ、五大湖沿岸に位置する代表的な都市圏の中心都市はどこか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ラスベガス 2. アトランタ 3. デトロイト 4. メンフィス

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 4 ペルー・チリ海溝	南アメリカ大陸の太平洋岸（西岸）では、ナスカプレートが南アメリカプレートの下に沈み込む「狭まる境界」が形成されている。この沈み込み帯に沿って、非常に深い谷状の地形であるペルー・チリ海溝が発達している。この境界付近では、アンデス山脈の形成や火山活動、巨大地震の発生が活発である。
問2	答え 4 リンゴ	日本産のリンゴは、高品質なブランド農産物としてアジア地域で高い人気を誇っています。日本は北半球に位置するため、リンゴの収穫期は秋であり、輸出先である台湾などでの輸入時期は11月から3月頃の冬期に集中します。近年は台湾や香港だけでなく、ベトナムやタイなどの東南アジア諸国への輸出も拡大しています。
問3	答え 4 モータリゼーション	地方都市では、自家用車の普及（モータリゼーション）が進んだことで、郊外の主要道路沿いに商業施設や住宅地が拡大した。これにより、人口集中地区（DID）の面積は拡大したものの、人口の伸びが追いつかなかったため、地区内の人口密度は低下し、都市の低密度化が進行した。
問4	答え 4 南アメリカ	1970年から2020年にかけて、人口密度が緩やかに増加し、かつ1人当たりの穀物生産量が大きく増加した特徴を持つのは南アメリカである。南アメリカでは、ブラジルのセラード開発に代表される大規模な耕地拡大や農業技術の近代化が進み、大豆やトウモロコシなどの穀物生産量が急増した。一方、人口増加はアフリカほど急激ではなく、人口密度は比較的低い水準で緩やかに推移している。これに対し、アフリカは人口急増により人口密度が大きく上昇しているが1人当たり穀物生産量は低迷しており、北アメリカやヨーロッパはすでに高い穀物生産水準や異なる人口動態を示しているため、提示されたデータと合致する。
問5	答え 4 アラブ首長国連邦	ペルシャ湾岸の産油国では、急速なインフラ整備や経済成長に対して自国の人口規模が小さいため、労働力を外国人に強く依存している。なかでもドバイやアブダビを擁するアラブ首長国連邦（UAE）では、総人口に占める外国人（特に南アジアからの出稼ぎ労働者）の割合が約9割に達しており、人口ピラミッドにおいて生産年齢人口の男性が極端に多い歪な形状を示すことで知られる。
問6	答え 1 海水淡水化	アラビア半島などのペルシャ湾沿岸諸国では、水源となる河川や湖沼がほとんど存在しないため、海水を淡水に変換して利用している。このプロセスには多大なエネルギー（熱や電力）が必要となるが、同地域は産油国であり、豊富な化石燃料をエネルギー源として利用できるため、海水淡水化プラントの稼働が実用化されている。
問7	答え 3 石油化学コンビナート	化学繊維（特に合成繊維）は石油製品を原料とするため、高度経済成長期以降に臨海部を中心に整備された石油化学コンビナートに隣接、あるいはそこから原料供給を受ける形で発展した。これにより、原料の調達から製品の製造までが効率化された。
問8	答え 3 中国	急激な経済成長を背景に電力需要が爆発的に増加したため、特定の発電方式に依存することなく、石炭を中心とする火力発電から、水力発電、沿岸部を中心とする原子力発電、さらには太陽光や風力などの再生可能エネルギーに至るまで、あらゆる発電方式の整備を急速に進めた。
問9	答え 3 デトロイト	五大湖沿岸に位置するデトロイトは、かつて自動車工業を中心に急速な発展を遂げた都市である。そのため、金融やビジネスの機能が集積し管理的・専門的職業の割合が高いニューヨークなどの都市圏と比較して、製造業に関わる生産・輸送職の就業者割合が相対的に高いという特徴を持つ。